

# 市民参加型まちづくり1%システム 事業成果発表会

日時：令和元年5月25日（土）午後1時～  
場所：ヒロロスクエア イベントスペース

## 次 第

1. 開会
2. 成果発表
3. 講評
4. 挨拶
5. 閉会

【担当】

弘前市市民生活部 市民協働課 協働推進係

# 事業成果発表会予定表

開始時刻	事業名	団体名
13:00	開会	
13:05	乳井区域内放棄地の環境整備と美化活動 乳井 夏のフェスティバル	乳井町おこし協力会
13:25	「家の整理は 心の整理」 シンプルで心地よい暮らしを一緒に見直してみませんか	弘前友の会
13:40	冬に咲くさくらライトアップ	冬に咲くさくらライトアップ実行委員会
13:55	休憩	
14:05	弘前スチールパンフェスティバル 🌸 スチールパンの実演があります 🌸	弘前大学スチールパン部
14:25	大成小学校区内の通学路等における 見守り活動	たいせイクマノミ隊
14:40	東目屋地区・多賀神社の清水大祭とともに ねまり相撲大会	楽しいね!!東目屋実行委員会
14:55	講評	
閉会		

## “みんなであずましまちづくり”

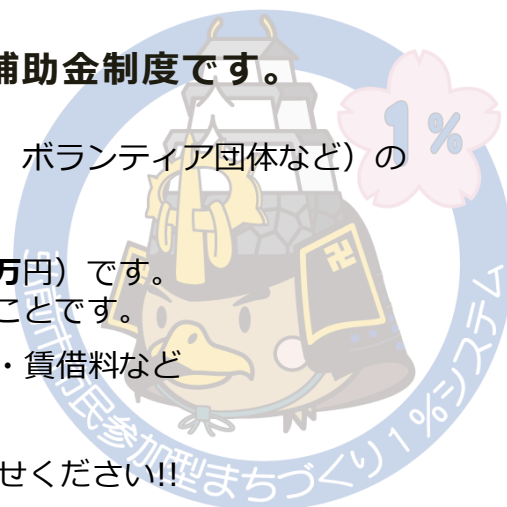
市民参加型まちづくり1%システムは、地域の課題解決や活性化につながる活動を支援する補助金制度です。

地域のことをよく知っている市民のみなさん（町会、NPO法人、ボランティア団体など）のアイデアをお待ちしています！

補助金額は、補助の対象となる経費の90%以内（上限額は50万円）です。補助の対象となる経費とは、事業を行うために直接必要な経費のことです。

例：外部講師の謝礼、交通費、消耗品費、印刷製本費、使用料・賃借料など

詳しくは、市民協働課 協働推進係（☎40-7108）にお問い合わせください!!



### 乳井町おこし協力会

#### 事業目的

- ◆放棄地となっていたため池や遺跡などを住民の手で復活させ、地域の良さを住民に再認識してもらい、これを機に様々な町会活動に町会全体で取り組むこと。
- ◆町会全体が一緒に行動し、町会の底力を引き出すことで、地域の文化財・郷土芸能の保存に対する意識を高めること。

#### 事業内容

- ◆町会にある遺跡・茶臼館の下草刈りやアカシヤの伐採などのほか、様々な歴史的な遺跡等を結んでコース化した歴史の小径を整備しました。
- ◆歌謡ショーやラッパ隊の演奏で地域を盛り上げました。また、ねぶたや獅子舞など地域の伝統文化を披露する機会を作ったほか、文化財の防災訓練も行いました。

#### 事業による効果

- ◆茶臼館の整備が進み、地域内外からの訪問者が増えました。歴史の小径ルートも環境が良くなり、「田舎の良さ」が見直されるきっかけをつくることができました。地域に住む方が自主的に茶臼館に登り、小径を歩く様子が見られるようになりました。
- ◆数日間に分けて様々な催しを行ったことで住民同士の交流が生まれ、活動に参加したいという若者も出てきました。防災訓練では煙体験などを初めて体験し、訓練の重要性を学びました。また、町外からの参加もあり、乳井町会の活動をPRできました。

#### 今後の活動展開

- ◆地域住民をはじめ、市民のみなさんに里山への関心を高めてもらい、乳井からの絶景をたくさんの人に見ていただくためにも、今後も数年かけてため池や小径、茶臼館などの整備を続けていきます。
- ◆住民から継続を望む声が多いため、規模を縮小した形にはなるが、高齢者向けの盆踊りや子どもたちが楽しめる行事を継続して行いたいと思います。



#### おおむねよくできた

- ◆整備活動をきっかけに、色々な町会活動が活発になっており、町会活動に取り組む底力が育っていると感じます。
- ◆祭りに町会の大人から子供までが参加し、一緒に活動できました。また、地域外から参加した方たちに乳井と歴史の小径をPRできました。



#### 事業目的

より多くの方に、片付けや掃除を通して家庭生活のあり方や生活環境について考えてもらうきっかけの場を提供すること。  
すっきり片付いた家に住むことで、効率良く過ごせることや、ものの持ち方を見直し、ごみの少ない社会に向けて、家庭でできることを考えてもらうこと。

#### 事業内容

家事アドバイザーを講師に招き、1人の弘前友の会会員宅をモデルハウスとして、片付け・掃除の様子や、片付けの前後の様子を写真で示しながら、キッチンの整理の仕方について講演を行いました。会員宅の片付けに他の会員も参加することで、今後自分達が講師となって地域に出向いて行けるように、会員全体のレベルアップを図りました。

#### 事業による効果

参加者からは、さっそく講演の内容を実践し、家の片付けをしたら次の掃除がしやすくなったという喜びの声がありました。また、普段の会話にも片付けの具体的な内容が挙がるようになったという方もおり、市民の家の片付け・整理に対する意識向上の一助となりました。

#### 今後の活動展開

多くの人に集ってもらえるように内容を精査すること、周知方法をよく考えて、自立しての実施が可能な事業にしていきたいと思えます。



### 大変よくできた

入場券の問い合わせが相次ぎ、当日券の入場を増やすほどの反響があっただけでなく、アンケートを見ると、実際に参加した方からの満足度も高かったです。今後、会員が市民に対して講座などを行うような展開の足掛かりにすることができました。





### 家の整理は心の整理

～キッチンからはじめる 整理・収納・活用・掃除～

シンプルで心地よい暮らしを一緒に見直してみませんか

**9月1日 土**  
**13:30～15:30**

弘前市民文化交流館ホール  
(七戸口4階 弘前市駅前町9-20)

◆全席 800円 (当日1000円)  
◆チケット代なし  
◆会場：〒030-0801 七戸口5-1-1 弘前市民文化交流館ホール  
◆申し込み：TEL/FAX (0)172-335-3608、メール 090-3122-4463  
弘前友の会 TEL/FAX (0)172-871-6206

主催：弘前友の会、協賛：弘前市役所、弘前市社会福祉協議会、弘前市健康福祉課、弘前市環境衛生課、弘前市生涯学習課

※この会は、弘前市社会福祉協議会から委託を受けて開催する団体活動です。主催者（弘前友の会）は、この活動の開催に必要となる費用（会場費、講師料、印刷費、交通費等）を、弘前市社会福祉協議会から委託を受けて集めます。弘前市社会福祉協議会から委託を受けて集めた費用は、弘前市社会福祉協議会から委託を受けて集めた費用として使われます。弘前市社会福祉協議会から委託を受けて集めた費用は、弘前市社会福祉協議会から委託を受けて集めた費用として使われます。



## 冬に咲くさくらライトアップ

## 冬に咲くさくらライトアップ実行委員会

## 事業目的

冬の雪国が持っている魅力や美しさを市民に再認識してもらい、事業に市民が参加することで、冬の弘前を盛り上げていくこと。  
市の花であり、観光資源となっている「さくら」の花を、着雪したさくらの枝をライトアップして表現することで、市外からの誘客を図ること。

## 事業内容

さくら色のフィルターを装着した光源を設置し、さくらの枝を照らしました。  
ライトアップの様子をSNSでレポートすることで情報発信したり、ライトアップを見に来た方に写真を上手にとる方法をアドバイスしました。また、市民が手作りする返礼品を支援者に渡すなど、多くの市民の協力を受けました。

## 事業による効果

市民が外出する機会を作りだすことができたほか、市民同士や国内外から訪れた観光客と交流できる機会を生み出すことができました。  
また、冬期間の弘前の魅力や価値を再発見でき、市民が自信や誇りを持つことにつながる一助となりました。

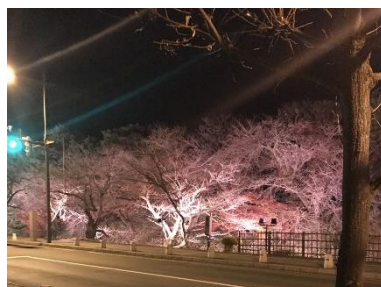
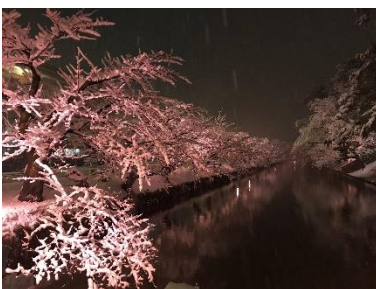
## 今後の活動展開

雪が少なく、「見頃でない」日を減らせるように、ライトアップによる表現力を向上できるよう工夫したいと思います。  
市民の参加や協力をしてもらえる機会を増やし、観光客などと交流する機会を増やしていきたいです。



## おおむねできた

長期間の実施でしたが、事故等もなく終わることができました。また、返礼品の制作やライトアップの見どころ案内で、市民からのバックアップもあり、市外の企業との連携・広範なPRもできました。



## 弘前大学スティールパン部

### 事業目的

日本で唯一、大学生によるスティールパン演奏団体がある大学として、カリブ海域発祥の旋律打楽器・スティールパンに市民が触れる機会を提供すること。  
スティールパンの音の面白さや、魅力をより多くの市民に知ってもらうこと。

### 事業内容

小型スティールパンを制作するワークショップと、コンサートを開催しました。参加者には、ペール缶とハンマーという身近なもので楽器が作れることを学んでもらい、コンサートで演奏もしてもらいました。コンサートでは部員とスティールパン奏者による演奏のほか、楽器の体験コーナーを設け、市民にスティールパンを身近に感じてもらいました。

### 事業による効果

ワークショップ参加者には、楽器を作り、演奏を披露するという一連の流れを、コンサート観覧者にはスティールパンに実際に触れてもらうことを体験してもらうことができました。  
市民と合同でのワークショップ・コンサート開催を通して、地域の文化振興や、スティールパン発祥の地であるカリブ海域の歴史や文化を学び、国際理解を深めてもらう一助となりました。

### 今後の活動展開

コンサートの観覧者から好評だった体験コーナーを継続して行うほか、アンケートを取るなどしてコンサートに来てくださった方たちの意見を取り入れていきたいと思ひます。  
また、チラシの記載内容を検討し、より広く周知を図るなど、観客を呼び込むための工夫をしたいと思ひます。



### おおむねできた

より多くの人に参加してもらうため、周知方法が課題となりましたが、初めてスティールパンを知ったという人がほとんどで、体験コーナーでは多くの人にスティールパンを体験してもらうことができました。



## たいせいクマノミ隊

### 事業目的

地域と保護者・学校が一丸となって子どもの安全を守る意識を高め、より効果的な活動にすること。  
 地域として「子どもの命を守っている」ことを打ち出すことで、犯罪抑止効果を高め、地域全体の安全意識を高めること。

### 事業内容

団体名とマークが入ったベストを着用して、登下校時の安全見守り（特に交通量の多いヒロ口前交差点など5カ所）を行いました。  
 「大成コミュニティ・スクール通信」で安全標語を募集し、標語が入ったポスターを作成しました。

### 事業による効果

ベストの装着が見守り活動の認知度アップにつながり、子どもたちにも安心して挨拶・声掛けをすることができるようになりました。  
 活動への参加者の、活動に対する意欲も増し、子どもたちの安全が確保されました。  
 また、活動に参加したいという人も増えてきました。

### 今後の活動展開

ベストを着用するようになったことで活動の認知度も上がったことから、より活動に参加する人数が増えることや、PTA・町会などの関係団体との連携をより強めていきたいと思えます。  
 また、安全標語の入ったポスターの作成など、啓発活動にもより力を入れていきたいです。



### 大変よくできた

作成した見守りベストは、視認性がよく、デザイン等も好評でした。  
 参加者が増えてきており、子どもたちの安全に対する意識が高まってきたと感じます。



目指すは、通学路における見守り活動の充実！



楽しいね!!東目屋実行委員会

事業目的

東目屋の住民が、東目屋に暮らすことに誇りと喜びを感じ、生活を楽しみたいと思えるようにすること。  
地区全体で子どもと高齢者を守っているという一体感を深めること。  
祭りに地域内外から人を呼びこむことで、東目屋をPRすること。

事業内容

会場近くの多賀神社に土俵があったことから、子どもたちのねまり相撲大会を開催しました。また、子どもから大人までを対象とするねずみメイクを行ったり、ステージショーで盛り上がったほか、東目屋中学校の学生によるガイドツアーを行い、地区外から来た人たちに東目屋をPRすることができました。

事業による効果

東目屋の住民を巻き込んで実施したことで、地区全体を盛り上げることができました。また、積極的に子どもや若い世代に協力してもらったことで、次世代の育成にもつながりました。  
地域外からの参加もあり、新聞等に取り上げていただいたことで東目屋のPRにつなげることができました。

今後の活動展開

東目屋地区の郷土愛を育むために、次世代をより積極的に巻き込んで継続していきたいと思えます。  
また、告知方法にもう少し工夫を加えることや、雨天でもねまり相撲などイベントを催せるような工夫をしていきたいと思えます。



大変よくできた

東目屋にあるものを生かした取り組みを、東目屋の若い世代を中心にできたと思えます。  
今後、さらに協力してくれる住民を増やし、東目屋をもっと発信するかたちで続けていきたいです。

